

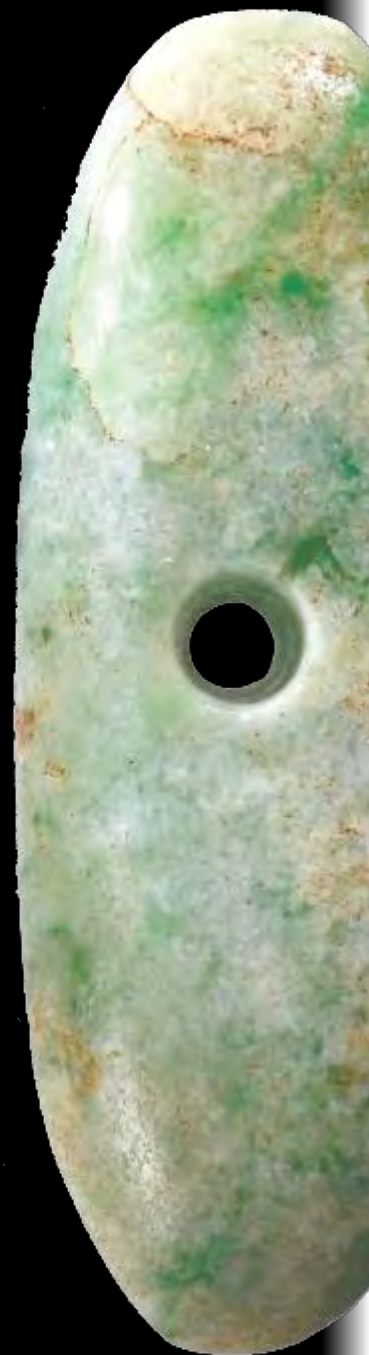
縄文時代講座2

福島県出土の 硬玉製大珠

福島県教育庁文化財課
文化財主査 山本 友紀

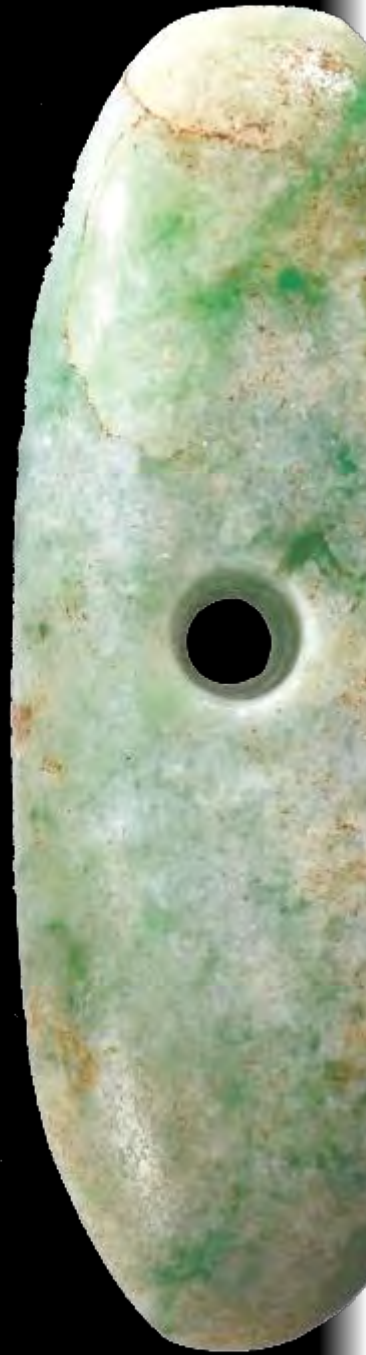
日時:2021.6.6 13:00～15:00

場所:福島県文化財センター白河館
講堂



1 硬玉製大珠 とは

硬玉製大珠を知る
硬玉製大珠の動きを見る
硬玉製大珠の意味を考える



硬玉とは



硬玉

ヒスイ輝石 (jadeite)

軟玉

透閃石岩や透緑閃石岩などの単鉱物
緻密な場合に用いる (nephrite)

※粗粒な結晶からある場合は軟玉と呼ばない

ヒ
ス
イ



ひ
す
い



カワセミのオス
あか...血の色→生命の象徴

カワセミのメス
みどり...木々の緑→自然の象徴

地上に現れたヒスイ



ヒスイのプロフィール

名前	: ヒスイ (jade)
鉱物名	: ヒスイ輝石 (jadeite)
岩石名	: ヒスイ輝石岩 (jadeitite)
産出条件	: プレート沈み込み帯
生成条件	: 熱水
特徴	: 硬い、基本色白

様々な鉱物の集合体。
2016年に国石に選ばれた。

蛇紋岩とは切っても切れない縁がある。
透閃石岩とよく間違えられる。

構成: $\text{NaAlSi}_2\text{O}_6$ (ナトリウム、アルミニウム、珪素、酸素)

硬度: モース硬度 6.5–7.0

堅さ: 強靱 (タフネス)

比重: 3.34

基本色: 白色

宝石名	硬度	比重	宝石名	硬度	比重
ダイヤモンド	10	2.10	トルマリン	7.5	3.00-3.30
ルビー	9	4.00	ガーネット	7.5	3.90-4.10
サファイア	9	4.00	アメシスト	7	2.65
トパーズ	8	3.54	ひすい	6.5-6	3.34
エメラルド	7.5	2.71	アマゾナイト	6	2.56
ジルコン	7.5	3.90-4.70	コハク	3-3.5	
アクアマリン	7.5	2.68-2.73	辰砂	2-2.5	8.10

ヒスイの産出地



なぜ、糸魚川
のヒスイなの？

【日本】

旭川市(北海道)、糸魚川市(新潟県)、下仁田町(群馬県)、
寄居町(埼玉県)、浜松市引左町(静岡県)、養父市大屋町
(兵庫県)、若桜町(鳥取県)、新見市旧大佐町(岡山県)、
高知市(高知県)、八代市(熊本県)、長崎市(長崎県)

【世界】

ロシア、カザフスタン、ミャンマー、グアテマラ、カルフォルニア

世界最大の産地

ヒスイ再発見略史



1 黎明期 (1930年代頃まで)

縄文時代から利用されてきた糸魚川産ヒスイは、奈良時代に最後に近代まで利用されることはなかった。

◆ヒスイの産地問題 国外説と国内説

- ・国外説:ビルマ・中国雲南地方・チベットなどからの渡来。
(高橋健白、濱田耕作、樋口清之、八幡一郎など)
- ・国内説:ヒスイが渡来したとすると、それとともに渡来したものがあるはずなのではない。(原田淑人)

◆ヒスイ再発見前夜

- ・糸魚川中学校生徒、糸魚川を旅行した八幡一郎による発見
→お蔵入り。

2 ヒスイの再発見 (1930年代末から1960年代頃)

ヒスイが国産であることが認識され始める。

◆ 謎のヒスイ発見史

- ・考古学雑誌第31号第5号に、1938年に小滝川で発見されたことが掲載される。
- ・同じ頃、糸魚川市の偉人相馬御風が神話の記述から、糸魚川にヒスイがあるのでは？と思至る。
- ・『国石翡翠』(2018宮島)ではその発見年代について詳細に検討しているが、結論が出ていない。

◆ 産地多元説

- ・糸魚川が原産地であることは発見されたが、これが北海道まで流通していることに疑問視。

◆ 産地一元説

- ・糸魚川市長者ヶ原遺跡を発掘調査した江坂輝也は、縄文時代中期から後期前半は、地域内の交易が頻繁になったため、文化的格差が非常に少なくなった時代、とした。

3 産地同定 (1960～70年代頃から)

科学とのコラボで、原産地が糸魚川であると確定

◆ 蛍光X線分析による産地同定

- ・茅原一也は、地質学研究に考古学の視点を取り入れ、ヒスイ文化の解明に貢献。
- ・東村武信・藁科哲男は日本列島のヒスイ原産地と考古遺物との成分的な特徴の比較を行い、糸魚川を中心とした各地のヒスイ利用の実態解明に大きく貢献。

◆ 生産遺跡の偏在性

- ・ヒスイの産出が、糸魚川市の姫川・小滝川流域にほぼ限られること、糸魚川市から富山県北東部の朝日町までの海岸線約30kmに生産遺跡(長者原遺跡、寺地遺跡、境A遺跡など)が限られていることが判明。



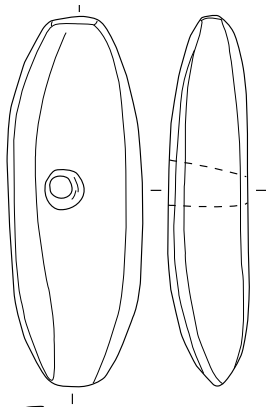
◆ 当時の交易や流通形態がうかがえる格好の資料として注目。

硬玉製大珠とは

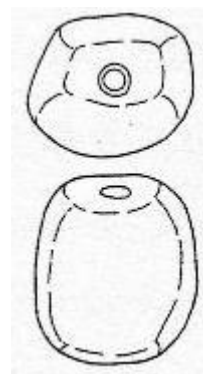


定義

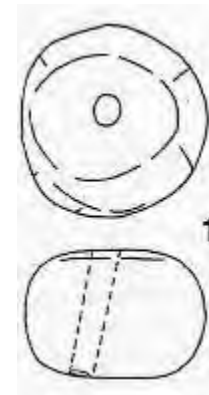
- ・ヒスイ製の大玉で、基本的には長楕円形を基調とした**鯉節型**と円形を基調とした**緒締型・根付型**とに区分される。
- ・穿孔(貫通した穴)がある。
- ・大きさの基準は明確にされていないが、約5cm以上を大珠と呼ぶ場合が多い。
- ・装飾品の一種と考えられている。



鯉節型



緒締型



根付型

生産遺跡

- ・糸魚川市から富山県北東部の朝日町までの海岸線約30kmに生産遺跡(長者原遺跡、寺地遺跡、境A遺跡など)があることが判明(磨製石斧の生産遺跡でもある)。集中的に一次加工が行われ、搬出された。
- ・青森県三内丸山遺跡など、原産地以外でも生産の痕跡が確認できる。

主な分布域

- ・主に中部地方以東から東北地方南部に多く分布する。
- ・原産地から中部高地を通過して関東平野に至る「長野・山ルート」、原産地から長岡市・会津地方を經由して那須・茨城県北部に至る「新潟・福島県ルート」が流通ルートの大動脈として想定されている(『身を飾る縄文人―副葬品から見た縄文社会―』(2019栗島)。
- ・鯉節型は全国的に分布するが、緒締型は関東地方、根付型は東北地方北部に遍在する傾向にある。

主な出土状況

- ・1集落1～2点程度の出土にとどまる傾向が多いが、茨城県常陸大宮市坪井上遺跡や同県茨城町宮後遺跡などからは複数出土している。
- ・地域の拠点集落と考えられる遺跡からの出土が顕著である。
- ・お墓(墓壙)からの出土が多い。
- ・中期中葉から後期初頭にかけての出土例が多い。

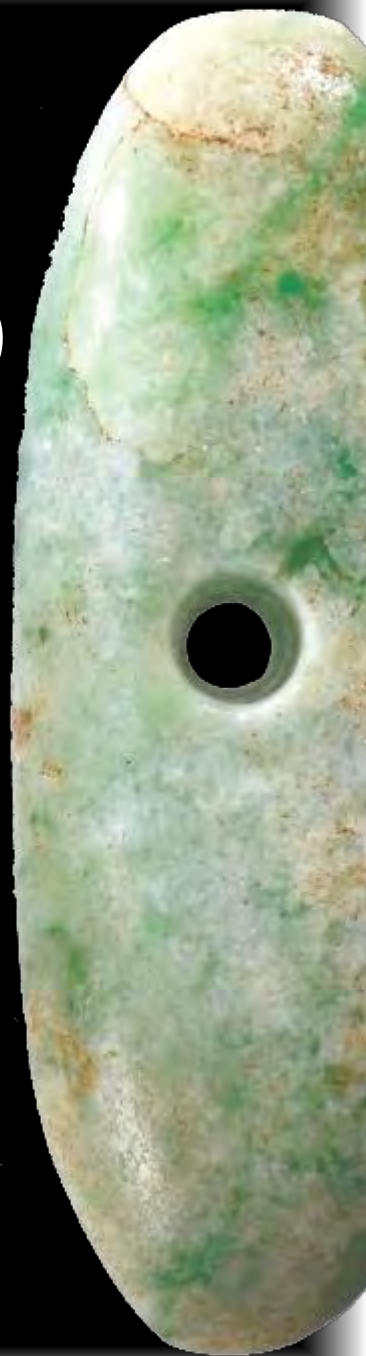
最古の大珠

- ・北杜市天神遺跡出土の縄文時代前期に比定される資料。お墓から出土。
- ・転石の形状を生かした整形・研磨。

※ヒスイ製の最古の道具...糸魚川市大角地遺跡出土の縄文時代前期に比定される多面体叩敲石。

2 福島県内出土の 硬玉製大珠・小珠

おそなえされた大珠
やくめを終えた大珠
よみがえる大珠
現代人も愛した大珠

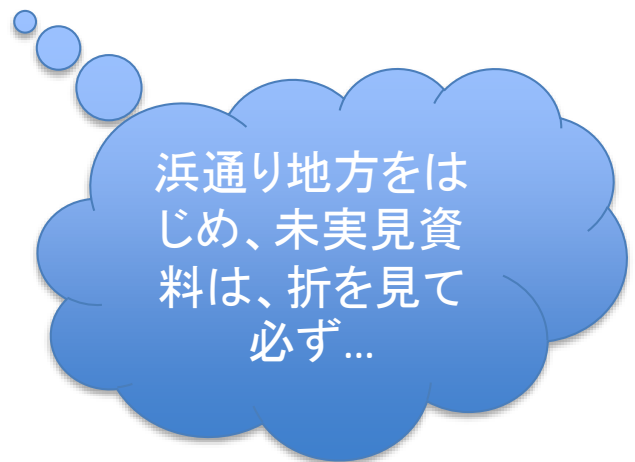


福島県内の資料集成



※令和3年6月現在 山本調べ

- ◆先学諸氏による集成リスト及び聴き取り・独自調査等からの拾い上げ
32遺跡38点
- ◆上記のうち、実見できた又は文献等から概ね形状・大きさがわかった資料
24遺跡28点

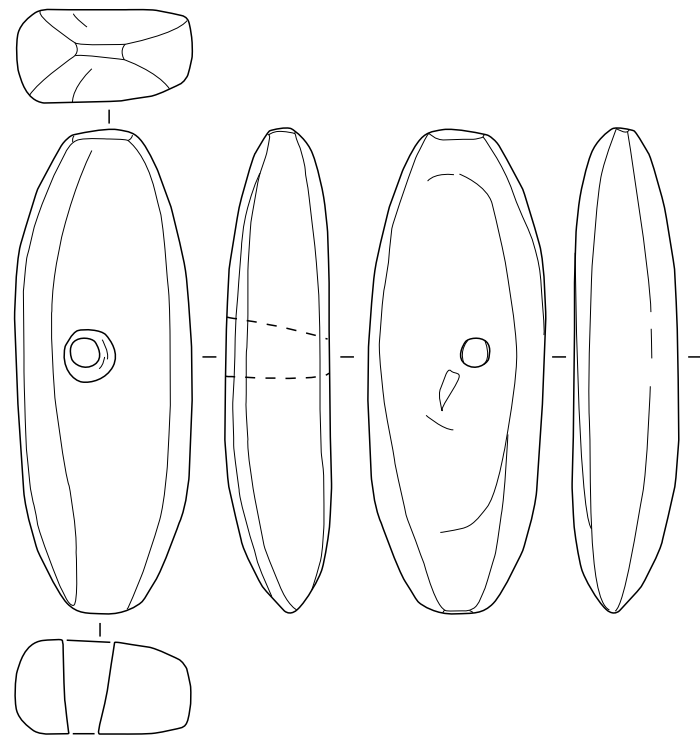


浜通り地方をはじめ、未実見資料は、折を見て必ず...



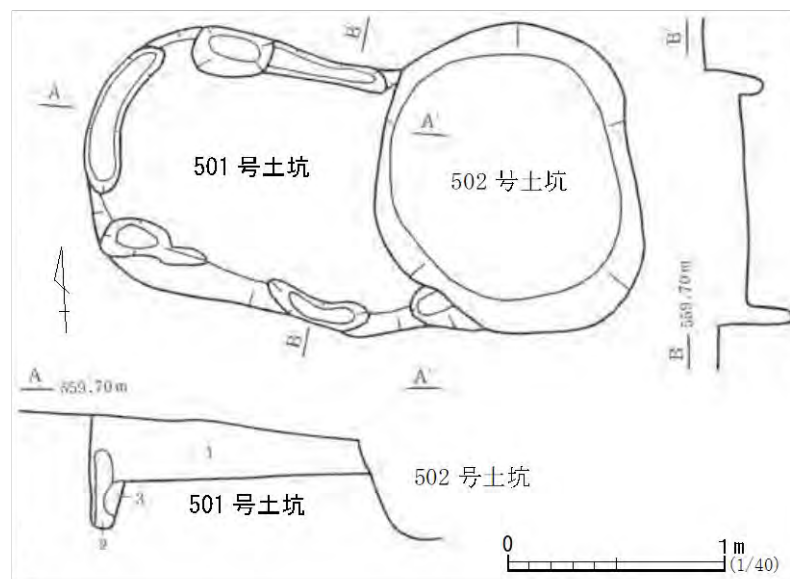
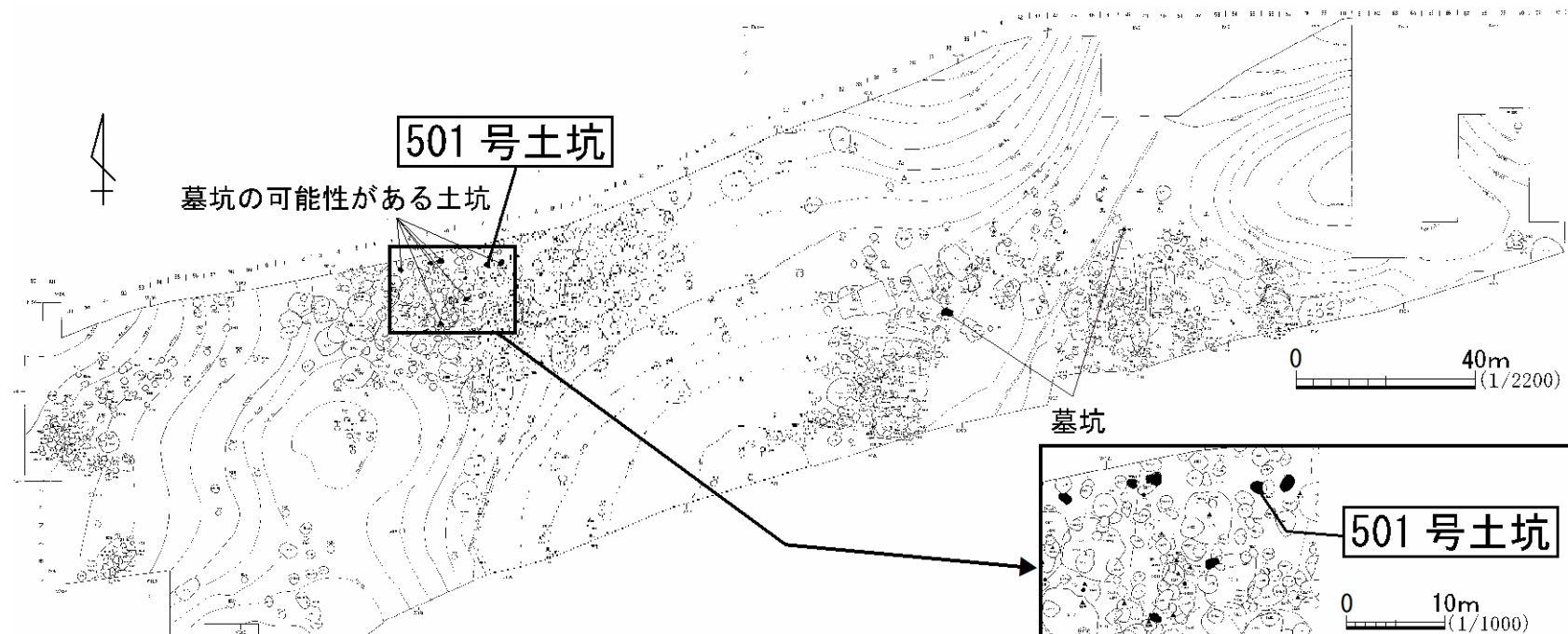
おそなえされた大珠

No22 猪苗代町・磐梯町 法正尻遺跡



福島県教育委員会所蔵

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
84	31	14	97.5	501号土坑	中期中葉	鯉節型(完形)	福島県教育委員会 (まほろん)



【501号土坑埋葬時推定図】

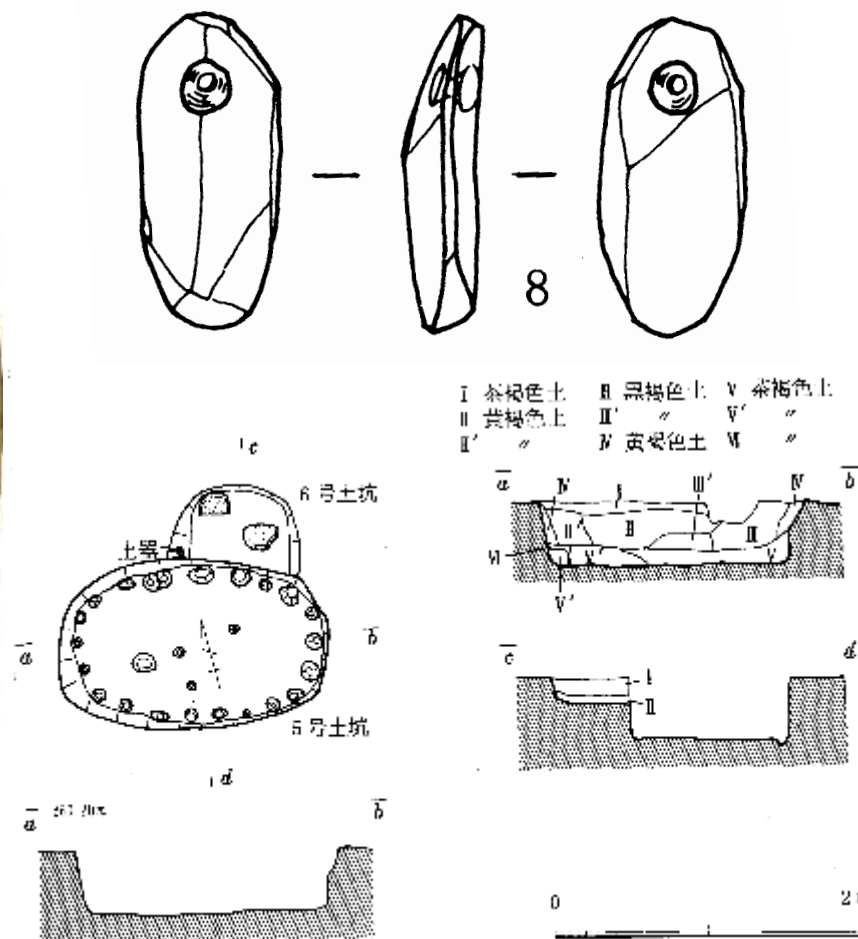


リーフレットから転載

No 16 白河市 南堀切遺跡

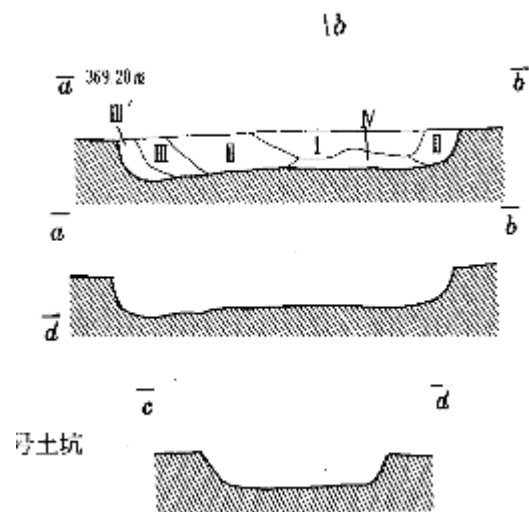
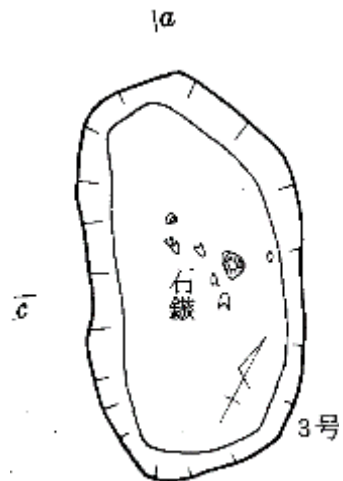
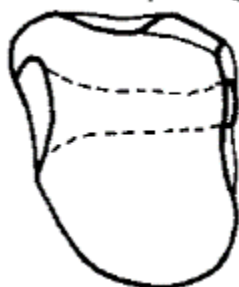
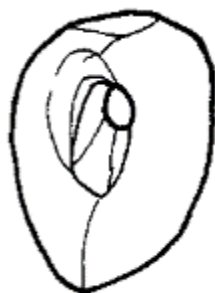


白河市所蔵(報告者撮影)



長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
37	17	9	9.6	5号土坑	中期中葉	不整形 (分割)	白河市 (白河市歴史民俗資料館)

コハク



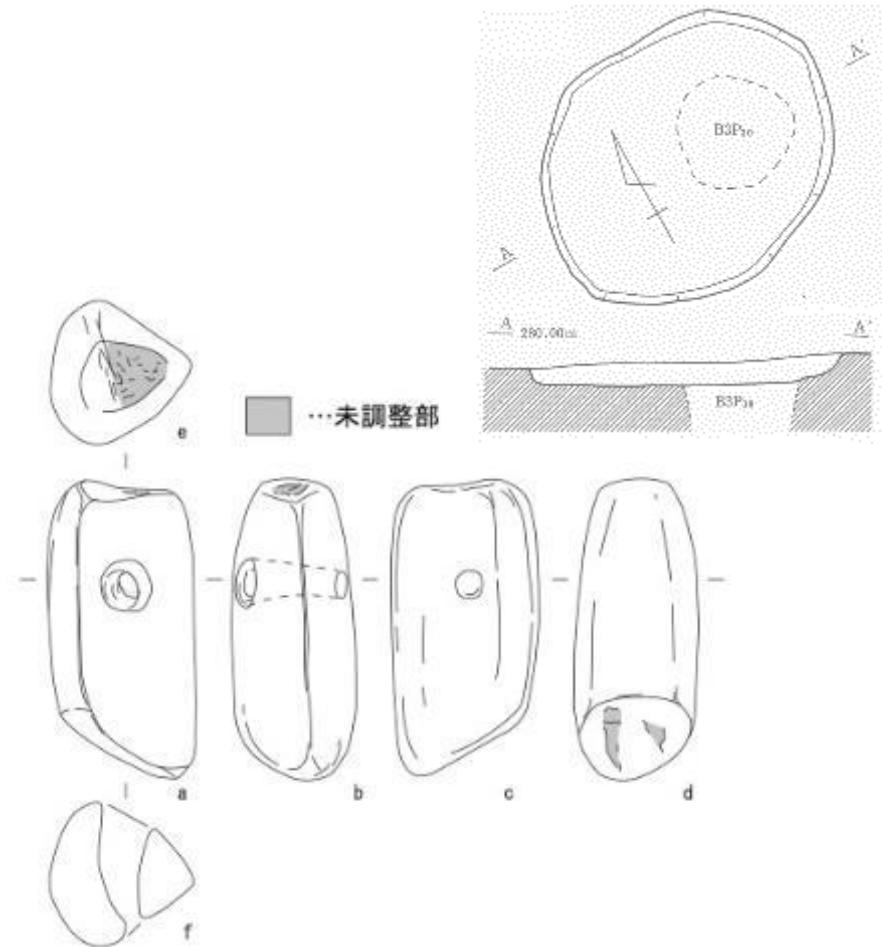
白河市所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	共伴	時期	所蔵(所在)
39	28	24	16.3	3号土坑	石鏃	中期中葉	白河市 (白河市歴史民俗資料館)

No18 石川町 七郎内C遺跡

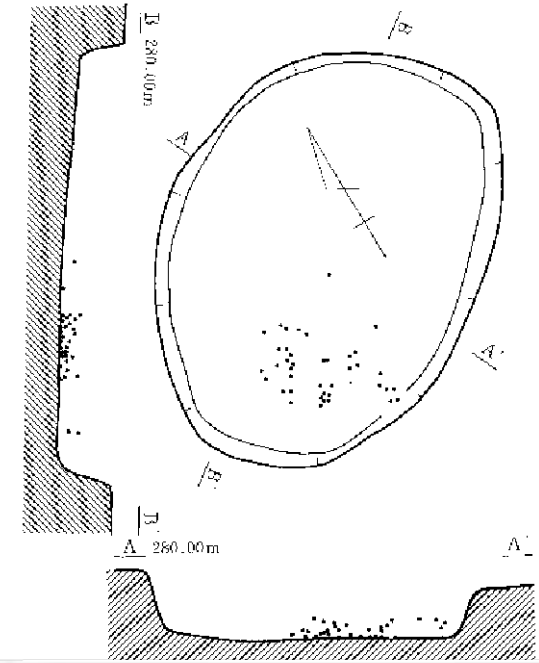
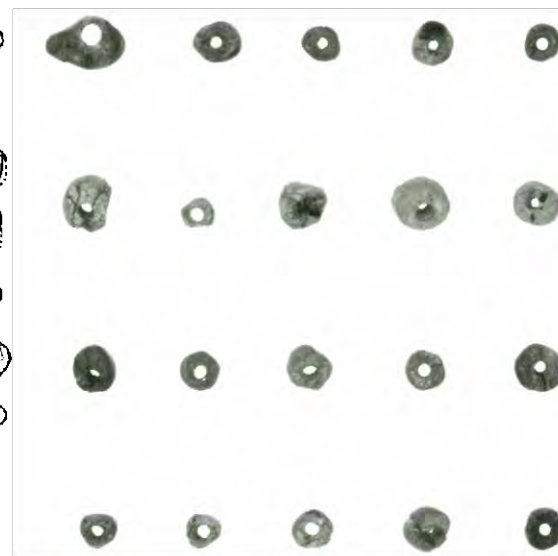
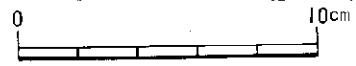
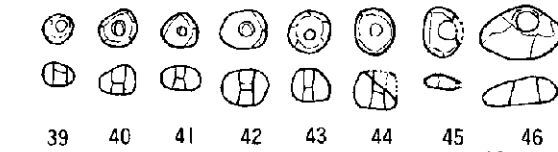
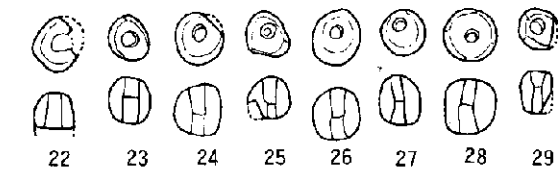
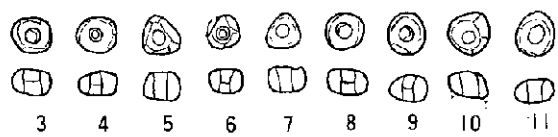
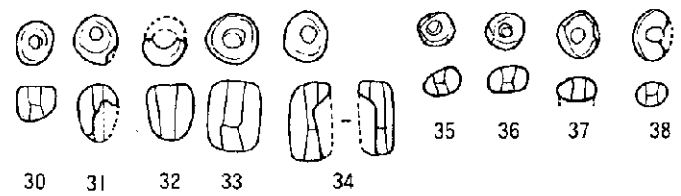
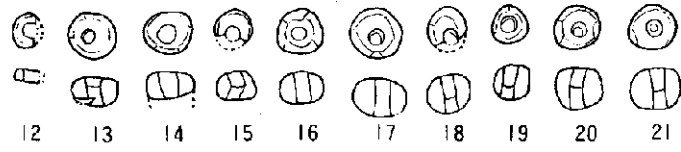
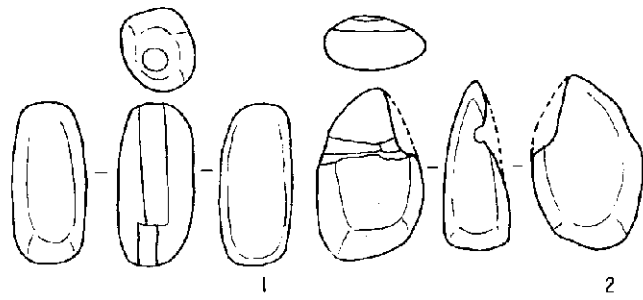


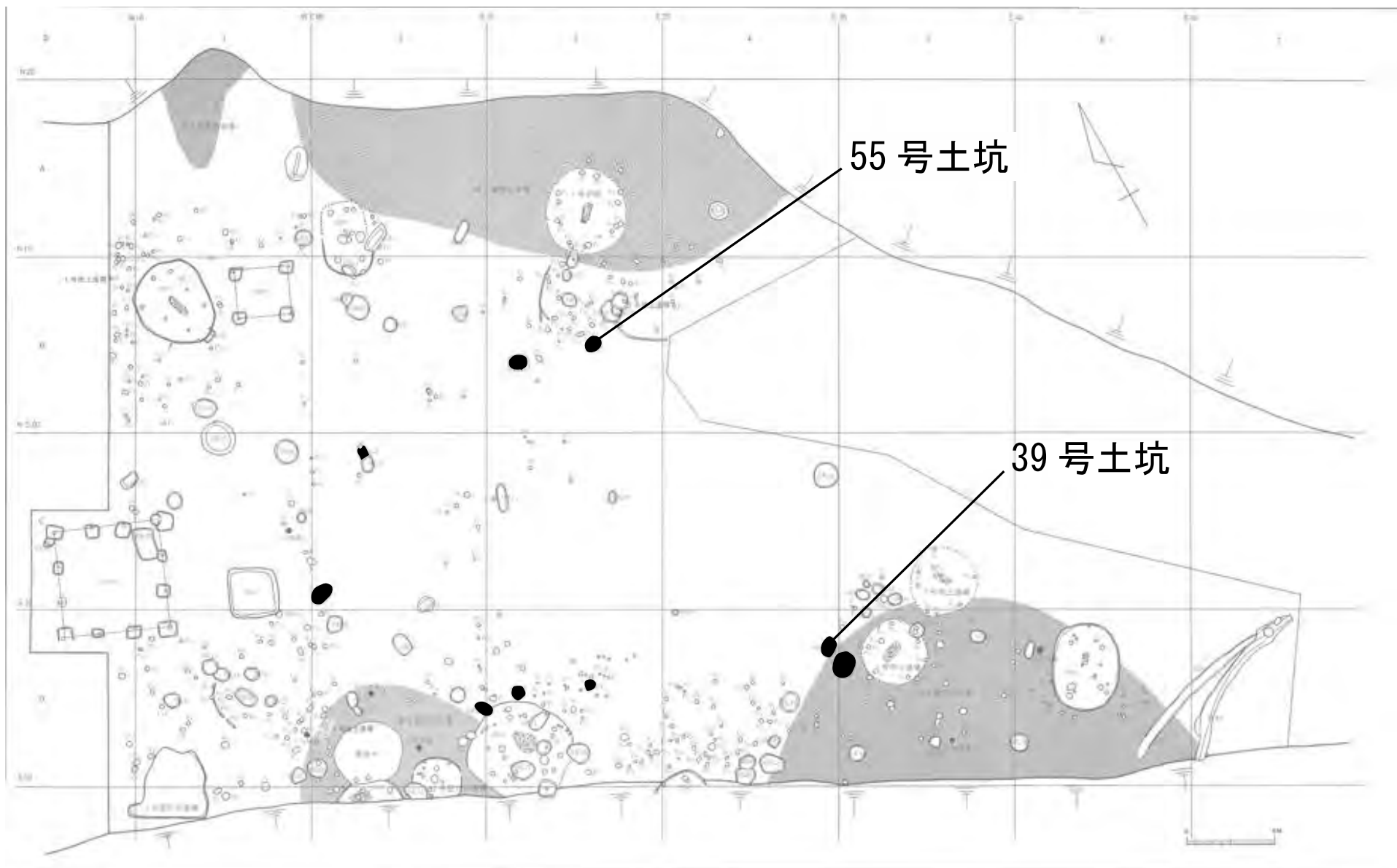
福島県教育委員会蔵



長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
64	26	30	103.0	55号土坑	(中期中葉)	不整形	福島県教育委員会 (まほろん)

コハク

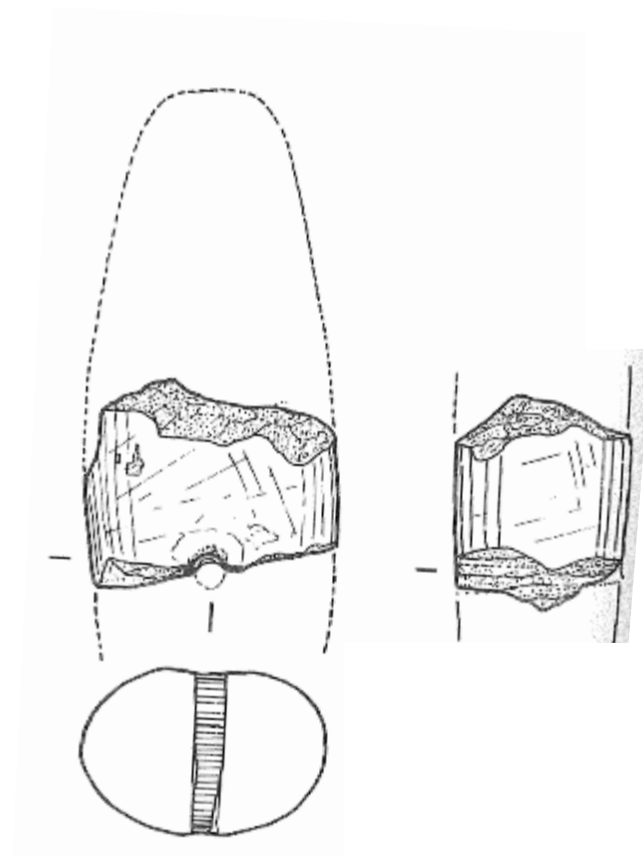






やくめを終えた大珠

No 1 1 小野町 矢大臣遺跡



小野町教育委員会所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
41	28	15	99.1	第1包含層	後期前葉	鯉節型(欠損)	小野町教育委員会 (小野町ふるさと文化の館)

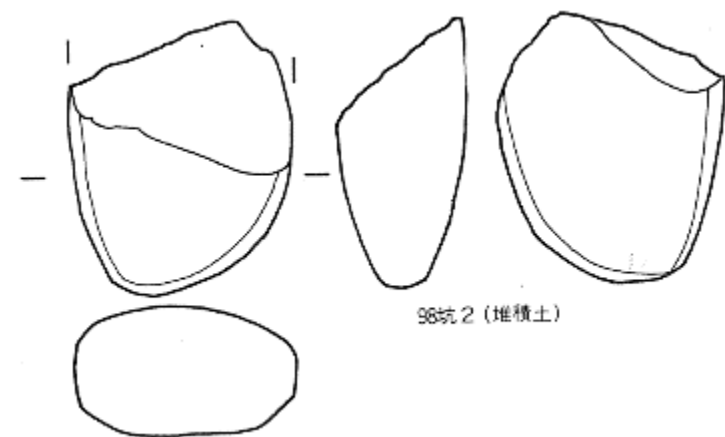
No8 郡山市 柳橋遺跡



郡山市教育委員会所蔵(報告者撮影)

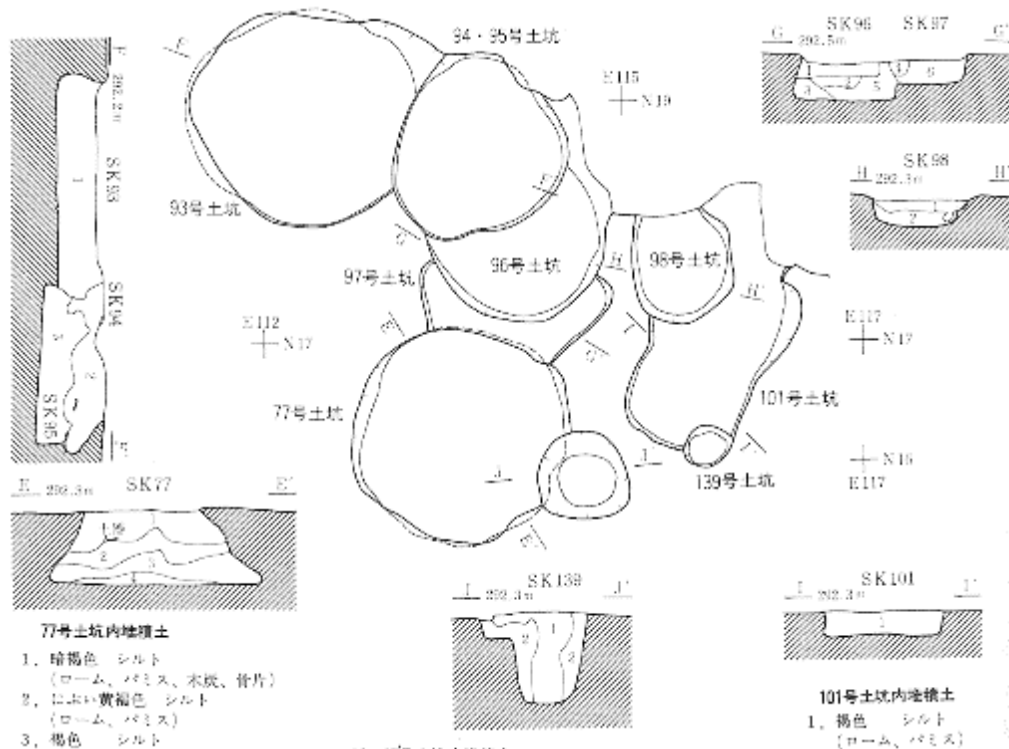
長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
46	37	28	68.5	遺物 包含層	後期 後葉	鯉節型 (欠損)	郡山市教育委員会

No 14-1 天栄村 桑名邸遺跡



福島県教育委員会所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅c (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	時期	所蔵(所在)
36	45	21	51.2	98号土坑	中期中葉	鯉節型 (欠損)	福島県教育委員会 (まほろん)



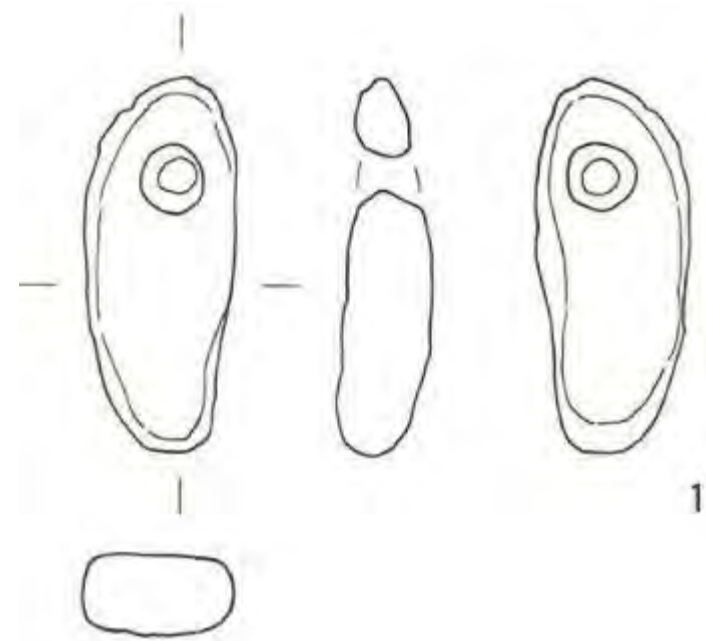
77号土坑内埋土

1. 暗褐色 シルト
(ローム、パミス、木炭、骨片)
2. 以上に黄褐色 シルト
(ローム、パミス)
3. 褐色 シルト

101号土坑内埋土

1. 褐色 シルト
(ローム、パミス)

No26 会津坂下町 北川前遺跡



会津坂下町教育委員会所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
36	15	8	8.0	遺物 包含層		不整形 (勾玉状)	会津坂下町教育委員会 (埋蔵文化財センター)

No6 郡山市 曲木沢遺跡



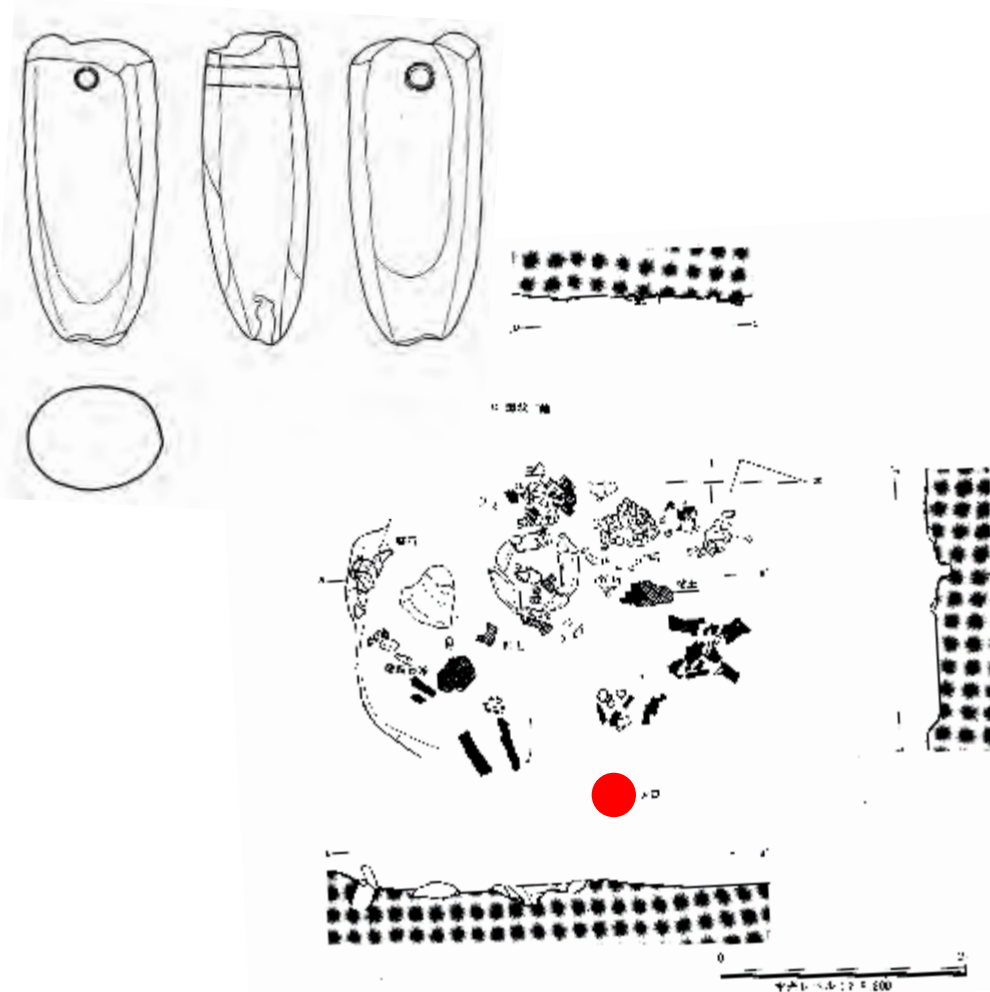
郡山市教育委員会所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
73	53	32	178.5	13号住居 跡(炉)	中期 後葉	鯉節型 (欠損)	郡山市教育委員会

No5-1 郡山市 馬場中路遺跡



郡山市教育員会所蔵(報告者撮影)



長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
106	45	35	218.0	1号 住居跡	中期 中葉	鯉節型 (欠損)	郡山市教育委員会

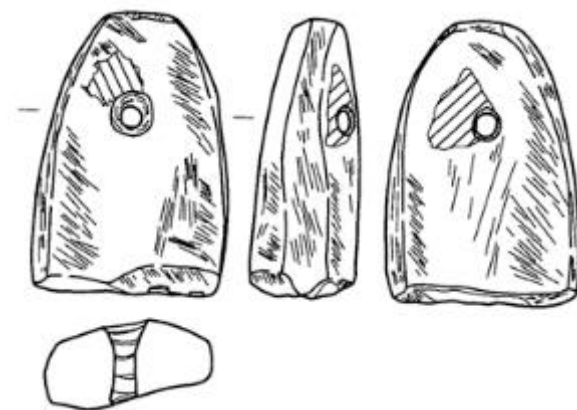


よみがえる大珠

No2 福島市 月崎A遺跡

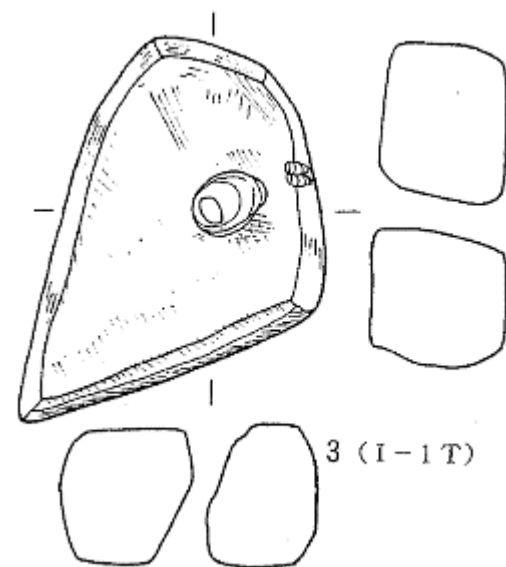


福島市所蔵(報告者撮影)



長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
41	28	15	132.8	遺構外	中期中葉	經節型 (分割)	福島市(じょーもぴあ宮畑)

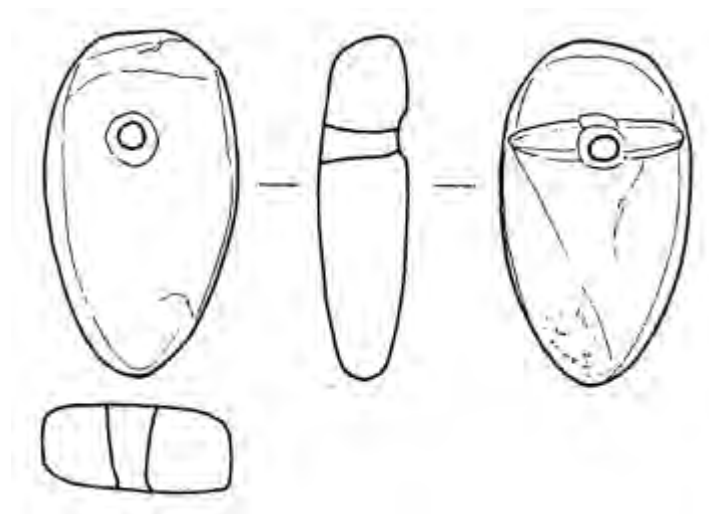
No13-1 須賀川市 塚越遺跡



須賀川市歴史民俗資料館所蔵(報告者撮影)

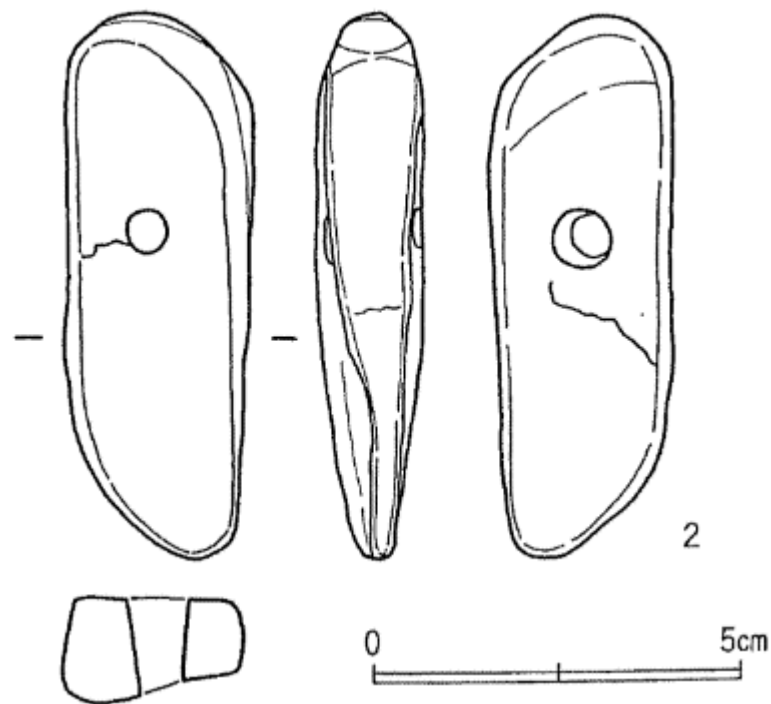
長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
50	65	22	117	遺構外	中期 後葉	不整形型？ (分割)	須賀川市歴史民俗資料館

No27 喜多方市 上林遺跡



長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
43	24	11	-	表採	中期 末葉	不整形 (分割)	個人 (福島県立博物館寄託)

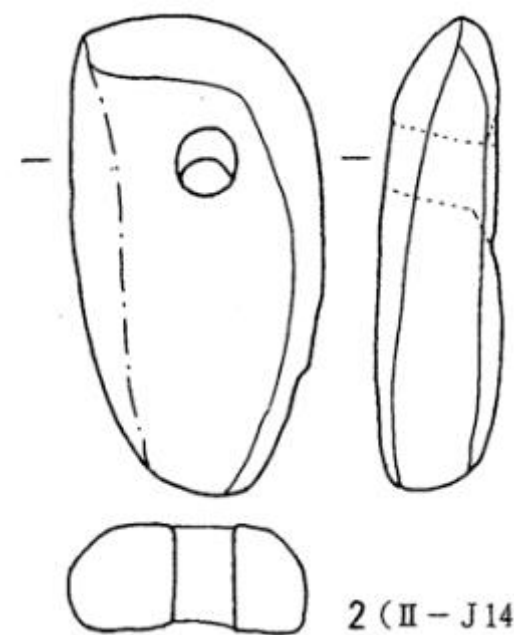
No15-1 白河市 町屋遺跡



白河市所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
75	25	15	53.5	風倒木痕	—	不整形型	白河市 (白河市歴史民俗資料館)

No13-2 須賀川市 塚越遺跡

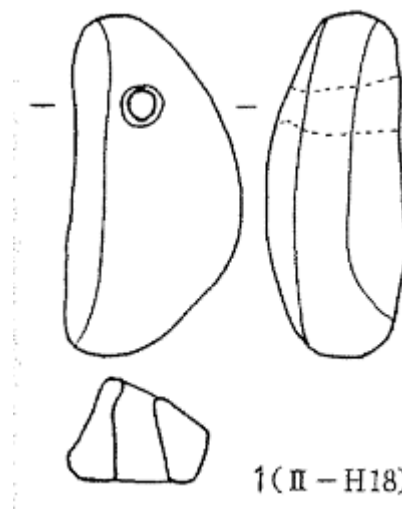


2 (Ⅱ-J14)

須賀川市歴史民俗資料館所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形態	所蔵(所在)
60	31	16	56	遺構外	中期 後葉	不整形型	須賀川市歴史民俗資料館

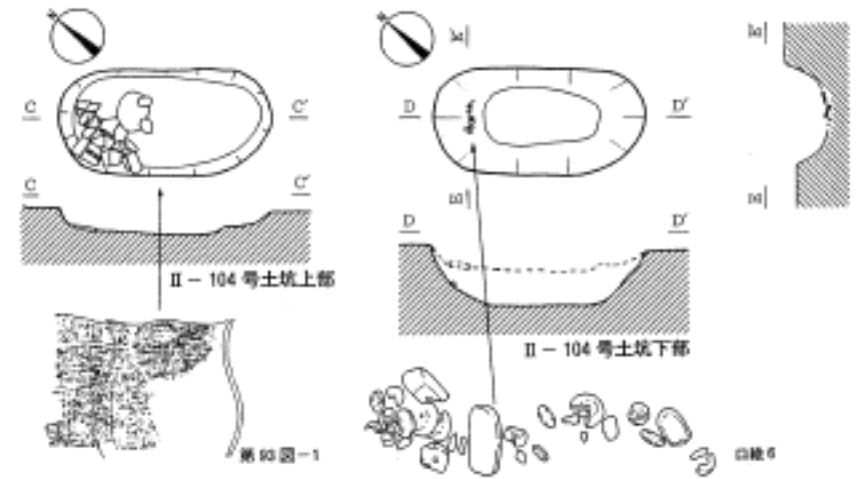
No13-3 須賀川市 塚越遺跡



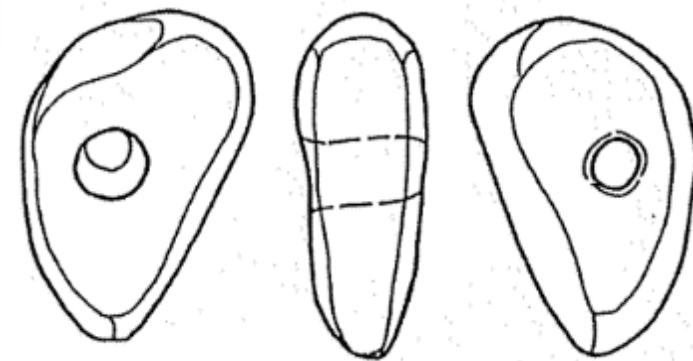
須賀川市歴史民俗資料館所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形態	所蔵(所在)
46	21	18	32	遺構外	中期 後葉	不整形型 (勾玉状)	須賀川市歴史民俗資料館

コハク



No5-2 郡山市 馬場中路遺跡



郡山市教育委員会所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	時期	所蔵(所在)
45	30	18	35.5	遺物 包含層	(前期～ 後期初頭)	不整形型 (勾玉状)	郡山市教育委員会

福島市 和台遺跡



福島市所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所有者(所在)
22	20	10	7.4	2159号土坑 (上面)	中期 中葉	小珠	福島市 ((公財)福島市振興公社)

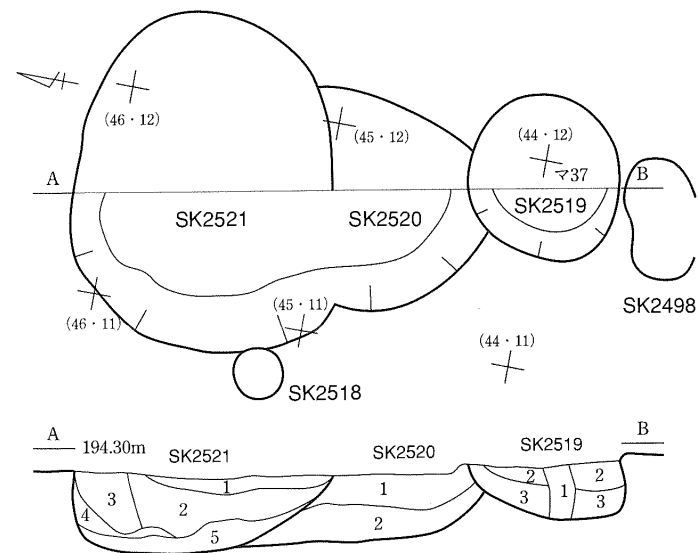
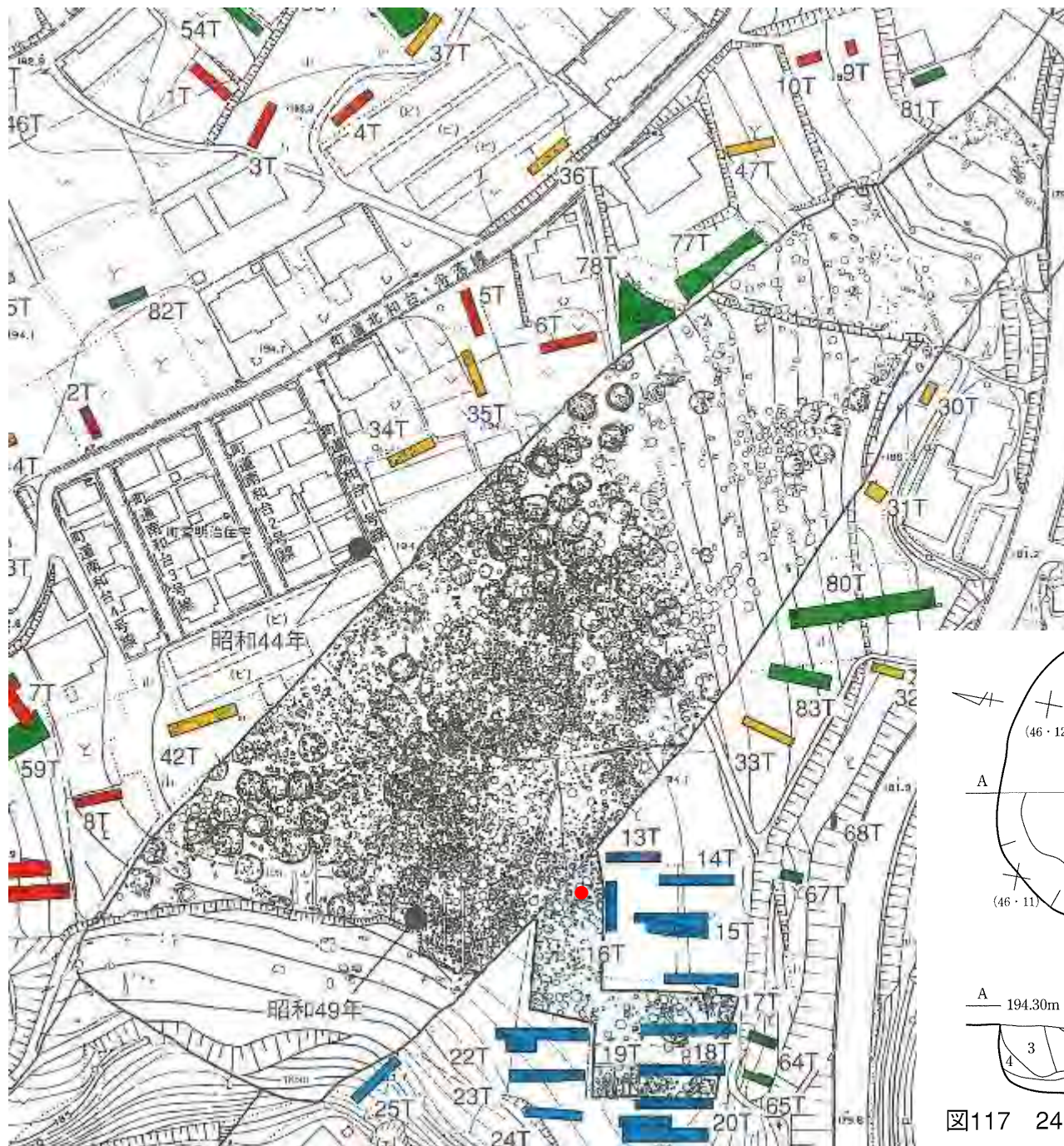
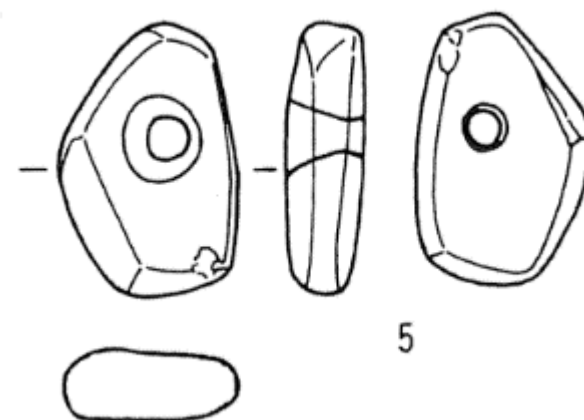
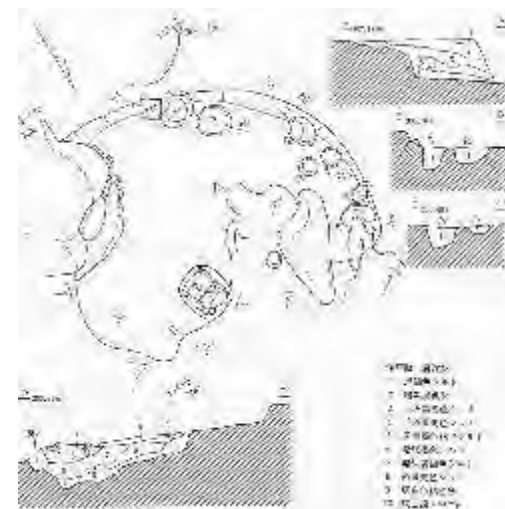
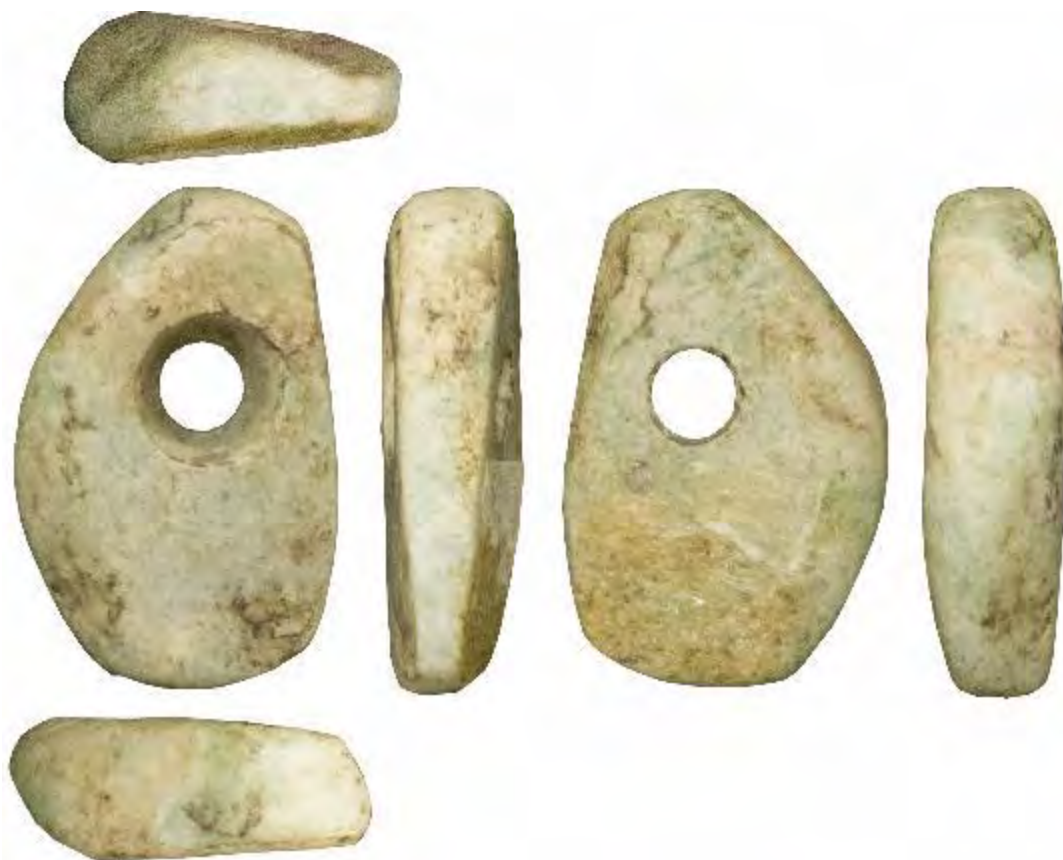


图117 2475~2521号土坑

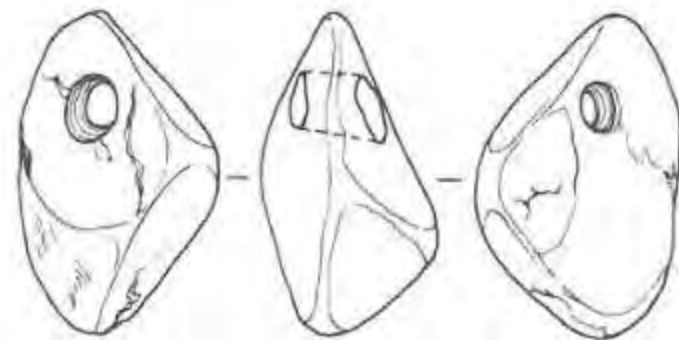
No19 石川町 小田口D遺跡



福島県教育委員会所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
24	15	6	7.4	5号住居跡	中期 末葉	小珠	福島県教育委員会 (まほろん)

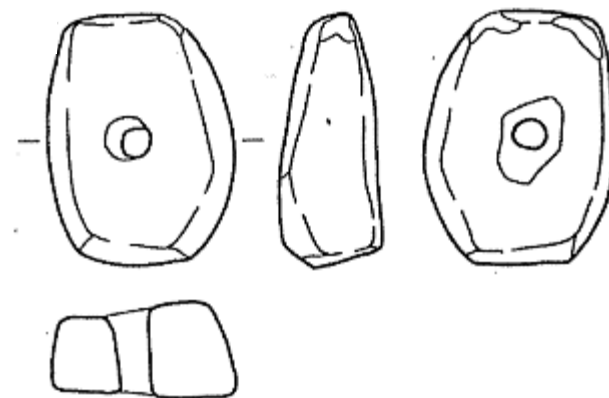
No9 郡山市 荒小路遺跡



福島県教育委員会所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
28	18	16	8.7	遺物包含層	後期前葉 ～中葉	小珠	福島県教育委員会 (まほろん)

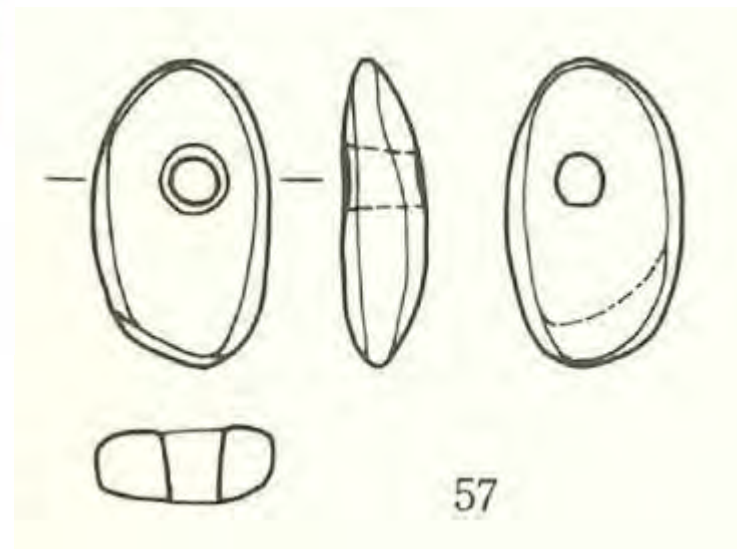
No7 郡山市 下羽広遺跡



郡山市教育委員会所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
31	22	12	15.1	319号ピット	晩期？	小珠	郡山市教育委員会

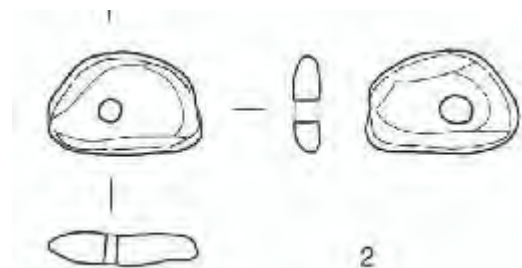
No10 郡山市 上納豆内遺跡



郡山市教育委員会所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所有者(所在)
33	20	8	9.5	遺構外	中期 後葉	小珠	郡山市教育委員会

No28 西会津町 上小島遺跡



西会津町教育委員会所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所有者(所在)
24	16	5	-	遺構外	中期中 ～後葉	小珠	西会津町教育委員会 (旧新郷小学校)

(参考) 郡山市 町B遺跡遺跡



郡山市教育委員会所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	共伴	形状	所蔵(所在)
69	43	32	185.0	遺構外	前期後葉、 中期中葉～晩期)	經節型 (分割)	郡山市教育委員会



現代人も愛した大珠

収集された大珠



猪苗代町蟹沢



伊達市梨ノ木

桑折町南半田



会津坂下町牛沢

天栄村桑名邸

『福島県史第6巻資料編1 考古資料』から転載・一部改変

No12 須賀川市 関向・富岡遺跡



須賀川市立博物館所蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所有者(所在)
76	22	14	43.0	表採	(中期中葉～ 後期初頭	鏝節型 (完形)	須賀川市立博物館所蔵 (首藤コレクション)

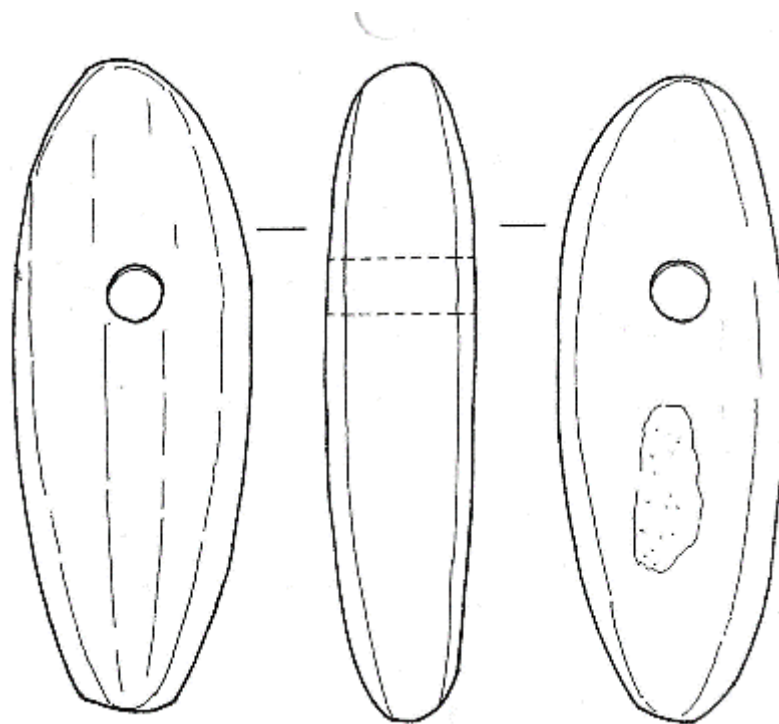
柳津町 石生前遺跡



柳津町教育委員会蔵(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土 遺構	時期	形状	所有者(所在)
31	17	11	-	表採	中期中葉 ～後葉	小珠	柳津町教育委員会 (やないづ縄文館) ※個人発見

No21 矢祭町 我満平遺跡



(報告者撮影)

長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出土遺構	時期	形状	所蔵(所在)
95	34	22	149.9	表採	中期中葉 ～後葉	鯉節型 (完形)	個人 (福島県立博物館寄託品)

分布状況



郡山市教育委員会蔵(報告者撮影)



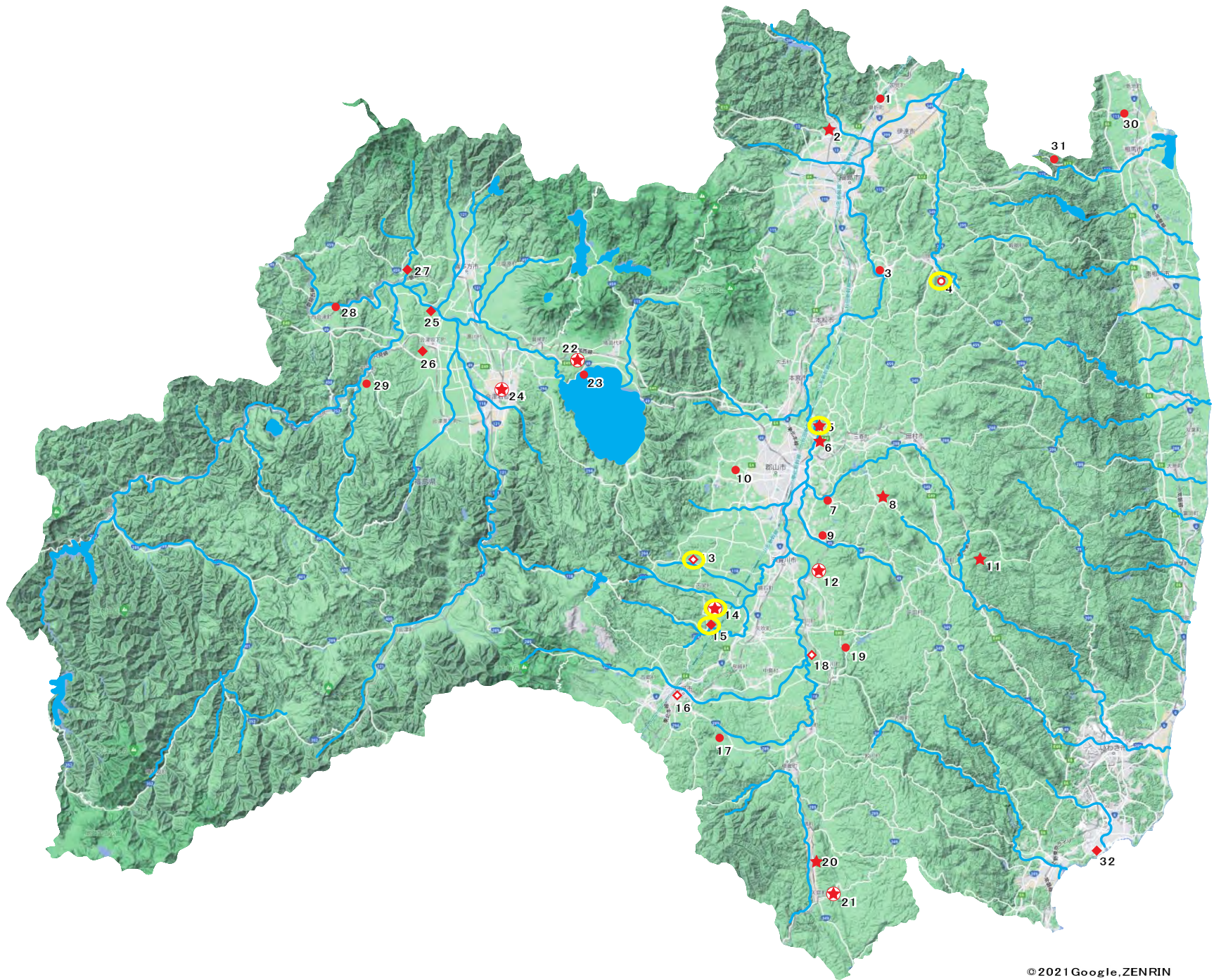
須賀川市立博物館・須賀川歴史民俗資料館蔵(報告者撮影)



川俣町前田遺跡(報告者撮影)

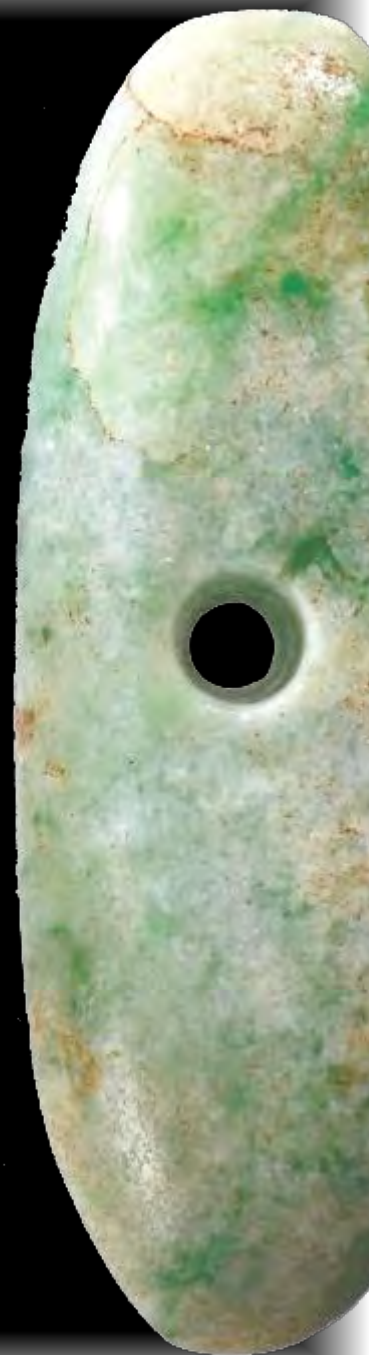


白河市蔵(報告者撮影)



まとめ

硬玉製大珠が意味すること



わかったこと



【形態】

- ① 鯉節型の完形品は5遺跡5点で、このうち4点は表採資料。発掘調査によって出土し、出土状況がわかるものは法正尻遺跡のみ。
- ③ 鯉節型で欠損しているものは7遺跡7点で、このうち割れ口に研磨痕があるものは2遺跡2点ある。
- ④ 不整形型は、元の形状を生かしてつくられた可能性がある。この傾向は、小珠も同様である。
- ⑤ 不整形型の中には、勾玉を意識したようなつくり(勾玉状)のものがある。

【時期】

- ② 出土時期は中期中葉から後葉に集中し、一部の小珠には後期前葉に属するものがある。

【出土状況】

- ⑥出土遺跡は、拠点集落と考えられる縄文の大集落である。
- ⑦土坑から出土した例は法正尻遺跡、白河市南堀切遺跡、石川町七郎内C遺跡、天栄村桑名邸遺跡で、桑名邸遺跡以外は確実に墓からの出土である。
- ⑧法正尻遺跡と南堀切遺跡は墓壙の形態が特殊であるため、特別な被葬者に副葬された大珠である可能性が高い。
- ⑨七郎内C遺跡は環状集落の内側に配された環状土壙墓群から出土している。さらに、対面にはコハク玉を着装した被葬者が眠る墓がある。
- ⑧須賀川市塚越遺跡、桑名邸遺跡、郡山市馬場中路遺跡、白河市町屋遺跡では、複数の大珠を出土している。更に塚越遺跡は、南堀切遺跡、七郎内C遺跡と合わせてコハク製品も出土している。

※馬場中路遺跡を除けば、これらの遺跡は半径約10キロ強圏内に分布地する。

- ⑨遺物包含層(捨て場)出土の小野町矢大臣遺跡などは、破壊された後、モノ送りなどの祭祀的行為があった可能性がある。
- ⑩会津坂下町北川前遺跡の焼けた大珠、郡山市曲木沢遺跡の炉跡出土大珠は、火による行為(祭祀)でその役目を終えた可能性がある。

【ルート】

- ⑪新潟県方面から移動してきたものが、会津盆地を抜け猪苗代湖畔を通り法正尻遺跡を經由して山間を抜け、郡山盆地に至り阿武隈川に沿って上流ルートと下流ルートに分岐、上流ルートはさらに南下して久慈川に至り、茨城県へともたらされたとする「新潟・福島ルート」が追認できた。
- しかし、南会津地方には皆無のように見えるが、コハク製品の分布が阿武隈川下流には見受けられないことや発掘調査例が少ないこと等を鑑みると、一概にないとは言えないことに注意しなければならない。

→長岡から三条市を通り只見町へ至る八十里越からの国道118・289号ルート...

硬玉製大珠が意味すること



おそなえされた大珠

＝副葬品・威信材・敬意

やくめを終えた大珠

＝破壊

よみがえる大珠

＝再生

産出地が限定的

光る石

稀少財

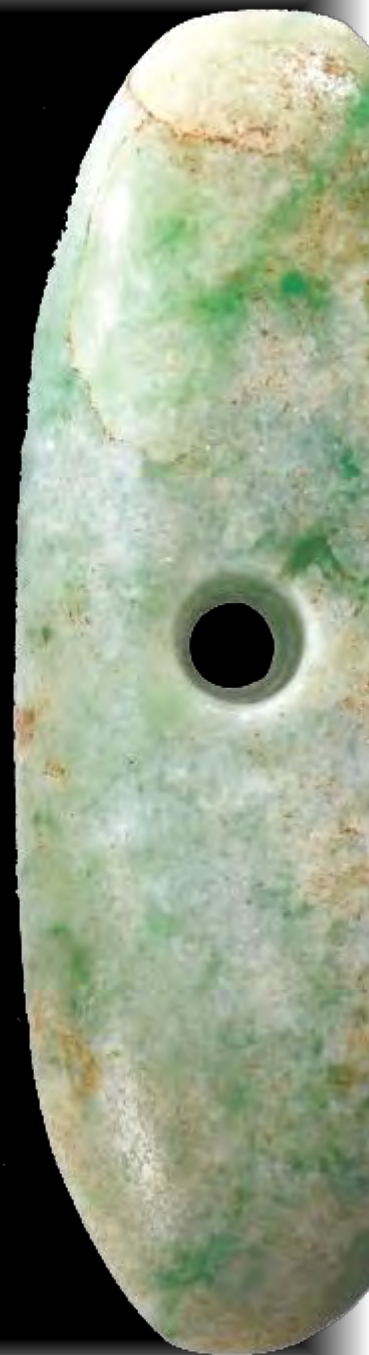
移動

加工に技術が必要

おわりに

以下の皆様に多大なご協力をいただきました。ここに記して感謝申し上げます(順不同)。

福島市市民文化スポーツ部文化スポーツ振興室文化振興課、(公財)福島市振興公社、じょーもぴあ宮畑、須賀川市立博物館、須賀川市歴史民俗資料館、郡山市文化スポーツ部文化振興課、大安場史跡公園、(公財)郡山市文化・学び振興公社、小野町教育委員会、会津坂下町教育委員会、柳津町教育委員会、西会津町教育委員会、白河市建設部文化財課、福島県文化財センター白河館、福島県立博物館



実測図掲載報告書 一覧

2010	会津坂下町教育委員会	『会津坂下町文化財調査報告書第64集 北川前遺跡 阿賀川下流狭窄部改修事業(津尻地区)に伴う発掘調査報告書』
2004	飯野町教育委員会	『飯野町埋蔵文化財調査報告6 和台遺跡2』
1992	小野町教育委員会	『矢大臣(新田)遺跡』
1997	(公財)福島市振興公社文化財調査室	『福島市埋蔵文化財調査報告書95 月崎A遺跡(6・16・18・26次調査)』
1982	郡山市教育委員会	『河内下郷遺跡群2 仁井田町遺跡・上納豆内遺跡』
1983	郡山市教育委員会	「馬場中路遺跡」『郡山東部Ⅲ 穴沢地区遺跡』
1997	郡山市教育委員会	『郡山東部22 下羽広遺跡(第2次)』
2003	郡山市教育委員会	『柳橋遺跡-発掘調査報告-』
2005	郡山市教育委員会	『阿武隈川築堤関連 町B遺跡』
1981	白河市教育委員会	『白河市埋蔵文化財発掘調査報告書 第3集 高山・南堀切遺跡』
2004	大信村	「第二節 町屋遺跡」『大信村史 第二巻 資料編 上巻』
1996	長沼町教育委員会	「塚越遺跡」『長沼町市 第2巻 資料編Ⅱ』
2003	西会津町教育委員会	『西会津町埋蔵文化財調査報告書第7集 上小島A遺跡』
1982	福島県教育委員会	『福島県文化財調査報告書第108集 国営総合農地開発事業 母畑地区遺跡発掘調査報告10 七郎内C遺跡』
1985	福島県教育委員会	『福島県文化財調査報告書第148集 国営総合農地開発事業 母畑地区遺跡発掘調査報告19 荒小路遺跡』
1985	福島県教育委員会	『福島県文化財調査報告書第147集 国営総合農地開発事業 母畑地区遺跡発掘調査報告18 小田口D遺跡』
1990	福島県教育委員会	『福島県文化財調査報告書第226集 国営総合農地開発事業 矢吹地区遺跡発掘調査報告6 桑名邸遺跡』
1991	福島県教育委員会	『福島県文化財調査報告書第243集 東北自動車道遺跡調査報告11 法正尻遺跡』
1983	矢祭町史編さん委員会	「我満平遺跡」『矢祭町市 第2巻 資料編Ⅰ』
1990	山都町史編さん委員会	「第2章第1節 1上林遺跡」『福島県山都町史資料集 第2集 原始・中世』